

ゼロカーボン通信みうらvol.6

今回のゼロカーボン通信みうらは、令和8年7月から公共施設等に掲示しているポスターです。

このポスターは2枚1組で、

- ・令和7年度までの三浦市の脱炭素の取組み状況
 - ・脱炭素に効果的な太陽光パネル・蓄電池の導入補助の案内
- で構成しています。

次のページからの記載内容は、令和8年度7月時点の内容となっているため、ご注意ください。

地球温暖化対策、取組み中です！

三浦市の地球温暖化対策

三浦市では、令和5年度に「三浦市地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいます。

この計画は、市全体の温暖化対策に関する「区域施策編」と市役所の温暖化対策に関する「事務事業編」とに分かれています。

「区域施策編」では、**市全体から排出される温室効果ガスを、2030年度までに2013年度に比べて46%削減する目標**を掲げており、最新値（2023年度）で**約24%の温室効果ガスを削減**しています。さらなる削減を目指し、神奈川県脱炭素支援の周知や、近隣市町と共に太陽光パネルと蓄電池の導入補助を行っています。

一方「事務事業編」の中では、**市役所が排出する温室効果ガスを、2030年度までに2013年度に比べて半分にする目標**を掲げています。

目標達成のため、省エネ行動※¹のほか、公共施設への太陽光パネル設置や、発電時に温室効果ガスを発生しない再生可能エネルギー※²由来の電気を導入するなど、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。

※1 エアコンの温度設定（室温が夏28℃/冬20℃になるように）、不要な照明の消灯、資料の電子化(=印刷量の削減)、エコドライブなど

※2 太陽光、風力、水力など、自然の力で補充され、永続的に利用できるエネルギー

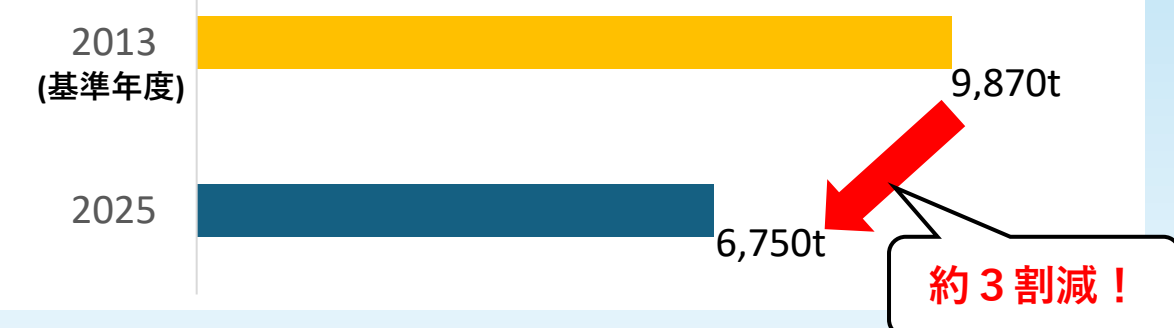
その結果、昨年度（2025年度）市役所が排出した温室効果ガスは、2013年度の排出量から**およそ3割削減**できました。



三浦市全体で排出される温室効果ガス



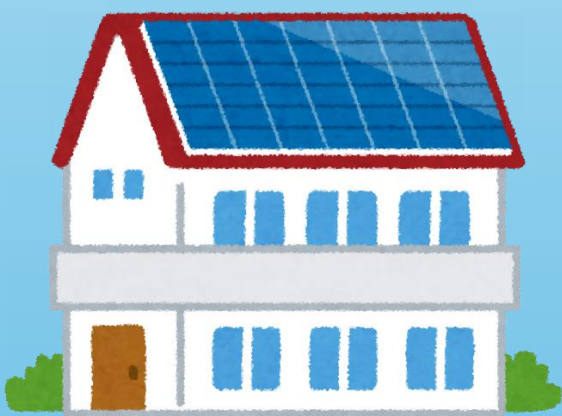
市役所が排出する温室効果ガス



地球温暖化対策、始めませんか？



太陽光パネルと蓄電池の導入補助



地球温暖化対策には、市役所だけではなく、市民の方や事業者の皆さまの取組みが不可欠です。

三浦半島の4市1町では、環境省の重点対策加速化事業費補助金を活用し、**市民、中小事業者向けに太陽光パネルと蓄電池の導入補助を実施しています。**

補助金の額は、以下のとおりです。

対象者	導入手法	対象設備	補助額等
個人向け	PPA・リース型 自己所有型	太陽光発電設備	7万円/kW
		蓄電池※1	(蓄電システム費用+工事費) (税抜) の3分の1※2
中小事業者向け		太陽光発電設備	5万円/kW
蓄電池※1		(蓄電システム費用+工事費) (税抜) の3分の1※2	

※1 蓄電池は、太陽光発電設備（パネル）と同時導入する場合に限り、補助対象となります。

※2 蓄電池の補助額には、上限があります。詳しくは右下のQRコードから市HPまで。

例えば、住宅に5kWの太陽光パネルと10kWhの蓄電池を設置する場合、約300万円必要ですが、この補助金を活用すると、約88万円の補助金により負担額は約212万円となります。※昨年度の実績を元にした参考値です。費用等は個別の状況により異なります。

なお、本補助金は要件を満たせば県の補助・支援と併用ができ、併用した場合にはさらに負担額の軽減が可能です。
ただし、予算額に達し次第受付を終了します。

詳しくは、QRコードからそれぞれのホームページへ。

かながわ脱炭素ポータル
(県の補助・支援について)



三浦市HP

